2/19 朝日

自宅療養 最多の57万人超

厚生労働省は十八日、新型コロナウイルス感染による全国の自宅療養者数が、十六日午前零時時点で五十七万七千七百六十五人となり、過去最多を更新したと発表した。一週間前の九日時点と比べ、三万人以上増えた。入院患者を含む全体の療養者数は八十三万九千六百四十三人で、69%を自宅療養者が占めた。増加ペースは鈍化しているものの、症状急変に備えた健康観察を担う保健所や診療所の業務は依然、逼迫が懸念される。

十六日時点の都道府県別の新型コロナ患者向け病床使用率は、東京や大阪など二十一都府県が50%以上だった。福岡の86%が最も高く、大阪の78%、埼玉の77%が続いた。

自宅療養者とは別に、病院や宿泊施設といった療養場所が決まっていない「療養先調整中」は二十万六千四十七人。そのうち、入院が必要なのに受け入れ先医療機関が決まっていない人は二千七百十四人だった。

厚労省は都道府県の報告を基に集計した自宅療養者や入院患者、病床の数を毎週公表している。